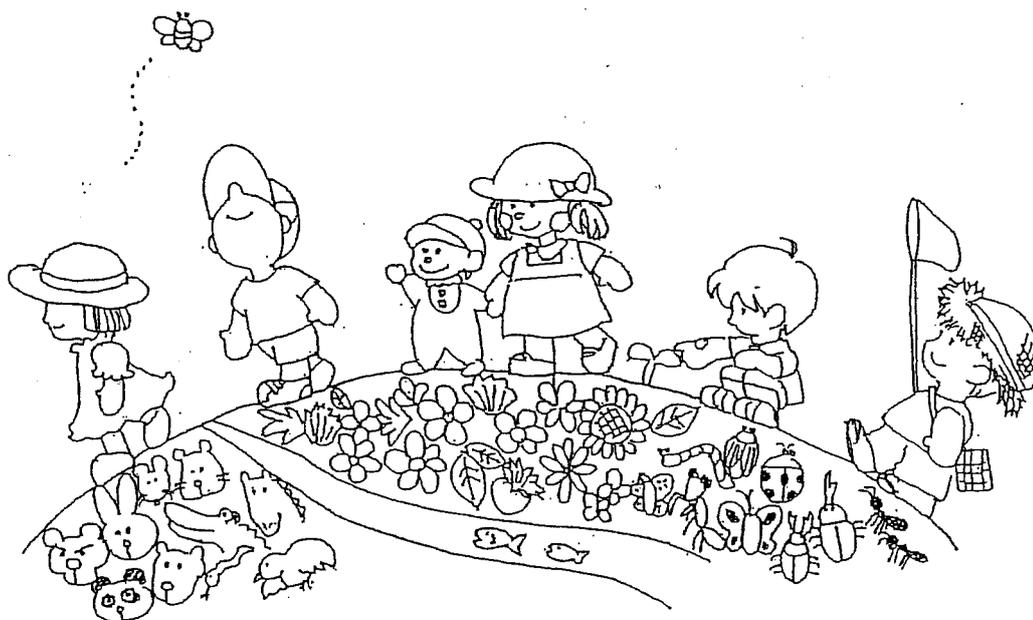


子育て支援に取り組む地域 活動推進シンポジウム in 群馬

—子育て支援の輪を広める—



◆とき

平成18年2月10日(金)

◆ところ

群馬県女性会館

◆主催

財団法人あしたの日本を創る協会
群馬県生活学校運動推進協議会

◆後援

独立行政法人福祉医療機構
群馬県教育委員会

子育て支援に取り組む地域活動推進シンポジウムin群馬

平成18年2月10日(金) 13:10~14:00 群馬県女性会館於いて

テーマ《現在の母親の子育ての状況とニーズ》

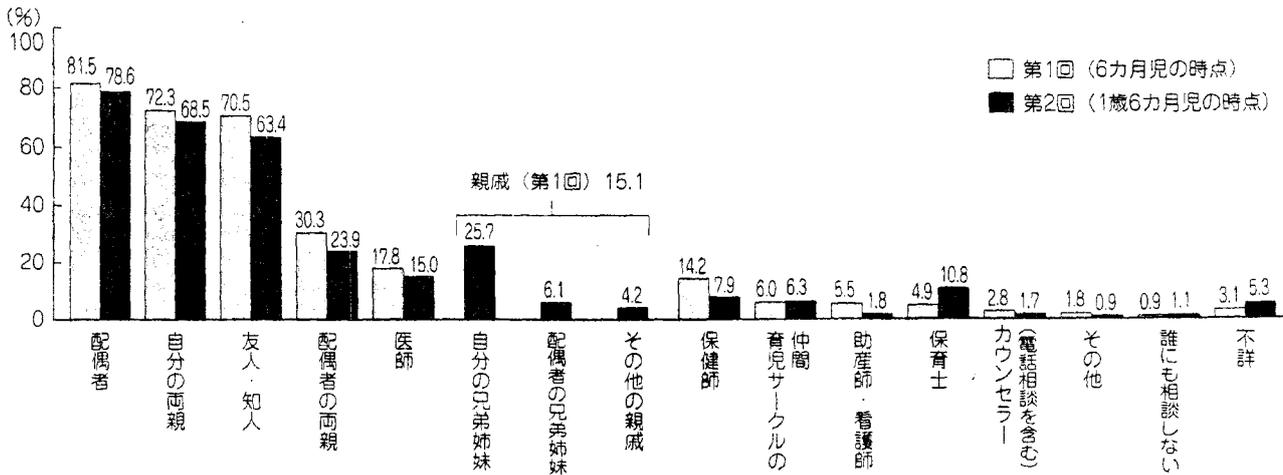
～子どものいることに幸せを感じる子育て環境を！～

関東短期大学 こども学科 助教授 森 静子

- 1、森風保育暦30年間からから見えてくる子どもの家庭環境の変化
- 2、こどもが人間になるために「子ども時代」どうしても守って上げたいものは何？
・人を信頼すること…コミュニケーションなぜ必要か
- 3、現代のこども事情・友達が出来ることの意味……将来、18・19歳のとき
- 4、今、親してる世代を理解すること…虐待とのからみも
- 5、究極の自分の人生を豊かにする技術……人間は人間にしか作れない作品
・子育て技術
- 6、憧れられる人生の先輩たちでいよう！……育てる喜びを親・養育者に！
- 7、地域に子育て力を家庭力に足してあげよう！ 勇気百倍

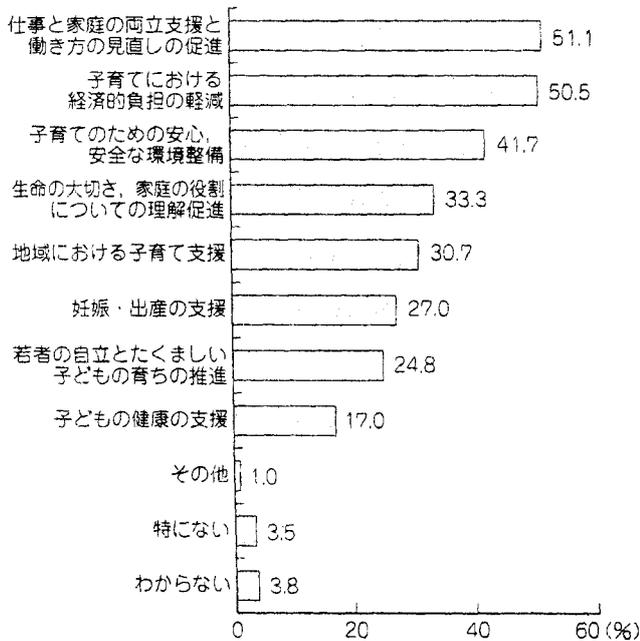
こどもがいるから希望が生まれる

II-2-13図 子育ての不安や悩みの相談相手 (平成13・14年度)



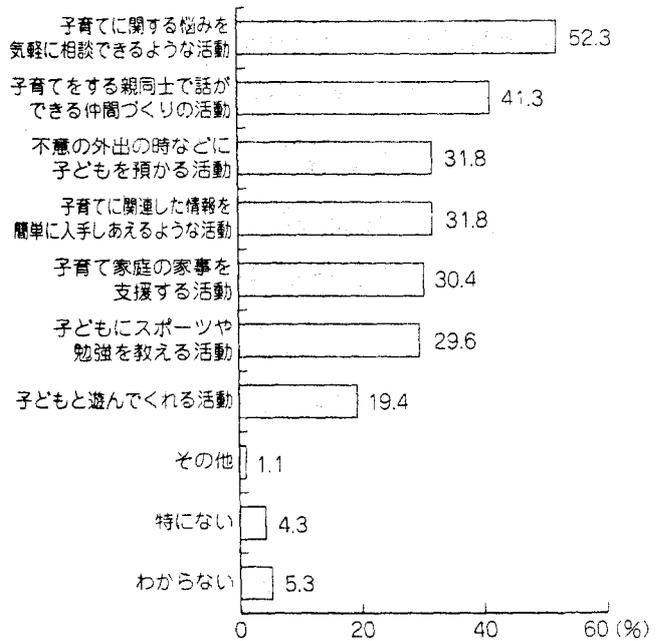
(注) 調査対象は、II-2-4表 (注) に同じ。複数回答。自分の兄弟姉妹、配偶者の兄弟姉妹、その他の親戚は1回目では親戚となっていた。
資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「第2回 21世紀出生児縦断調査 (平成14年度)」2004

II-2-14図 少子化対策で特に期待する政策 (平成16年)



II-2-14図・15図 (注) 調査対象は、II-2-6図 (注) の1.に同じ。複数回答。

II-2-15図 地域社会における住民同士の助け合いとして望ましい活動 (平成16年)



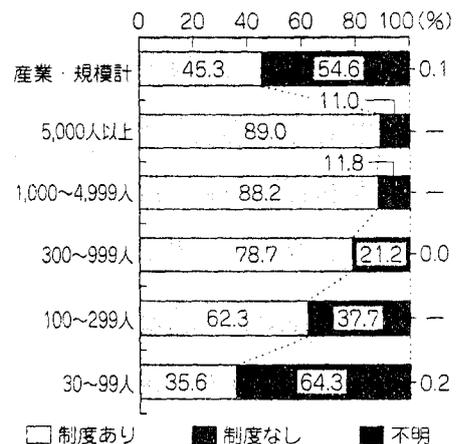
II-2-14図・15図 資料：内閣府政府広報室「少子化対策に関する特別世論調査」2004

II-2-5表 育児のための勤務時間短縮等の措置制度 (平成15年度)

区分	制度有り、最長利用期間							制度なし	不明
	~3歳	3歳~小学校就学前	小学校就学の始期	小学校入学~低学年(3年生又は10歳)	小学校低学年~卒業(又は12歳)	小学校卒業以降も利用可能	不明		
産業・規模計	33.4	1.6	8.6	0.2	0.2	1.1	0.1	54.6	0.1
5,000人以上	47.7	6.9	26.8	3.6	2.2	1.9	—	11.0	—
1,000~4,999人	58.3	3.5	23.3	1.3	0.5	1.2	—	11.8	—
300~999人	55.1	3.4	17.6	1.1	0.5	1.0	0.0	21.2	0.0
100~299人	46.8	2.6	10.6	0.3	0.1	1.5	0.4	37.7	—
30~99人	26.5	1.1	6.6	0.1	0.2	1.0	0.0	64.3	0.2

(注) 調査対象は、常用労働者30人以上の企業5,225社。平成15年10月調査。

資料：厚生労働省雇用均等・児童家庭局「平成15年度女性雇用管理基本調査」2004





市民メディアべーみんとかんぱにー事業報告

(2004年12月～2005年11月)

「すべての人が安心して子どもを育てられる世の中になりますように!」「次の世の中を創っていく子どもたちが健康でかつ広い視野をもって育ちますように!」「多くの方が生まれてきた意味をかみしめて、世の中とつながっていけますように!」と私達はいつも願ってきました。その願いへの一歩となるように、この一年、自分達のできる事をひとつひとつとおこなってまいりました。日頃ご支援いただいております皆様にもそんな私達の活動をご報告させていただければと思い事業報告書を作成いたしました。

●子育て情報誌事業

昨年より「いきいき子育て元気になあれ!!はっぴーMAP」を作成し、今春、発行しました。テーマは「子育て生活、心に元気を!」で、子育てをしている多くの仲間がいきいきと子育てできるようにと思いをこめて作成しました。現在子育て中の方々から約250件のアンケート協力を得て、より多くの子育ての知恵と情報を掲載できました。半年間での販売は2500部で、現在も書店で好評販売しております。購入された方々から「役に立った」「これからも頑張りたい」との応援の言葉も多数いただいております。多くの方々に役立つ情報を提供できました。



●インターネットにおける子育て情報提供事業

今年度も「ぐんま子育てネット」の名前でホームページの運営をおこないました。多くの方々の子育て支援になるようにと私達が集めた子育て情報を掲載しました。また、子育て中の方々の交流の場となるようにとホームページの中に掲示板やメーリングリストをもうけました。10ヶ月の間に延約3万人が閲覧しました。コンテンツの一部は平成16年度群馬県の委託事業「ぐんま子育て塾事業」として作成されています。

このホームページが平成17年度「地域づくり団体全国協議会のホームページコンテスト」の「奨励賞」を受賞しました。

<http://www.pep-net.gr.jp>

●子育てデータベース整備事業

平成11年度より作成している子育てデータベースに関して掲載中の施設より要請があったものを更新しています。昨年度に引き続き私どものホームページより閲覧できます。

●「子連れに優しいトイレ in ぐんま」事業

(日本子どもNPOセンター助成事業)

子育て支援に関するモデル的活動としてユニバーサルデザインの視点で街中や公園のトイレを調査しパンフレットを作成しました。

助成事業より印刷代を捻出し、子育て支援関係者に無料配布いたしました。

●ぐんま子ども子育て学(祭)会事業(群馬県委託事業)

2004年12月11日、群馬県庁にて群馬県と共催でおこなっています。子育てフォーラムと子育てまつりの企画運営を県の委託で実施しています。ワークショップと講演会の学びの場では多くの方の参加がありました。特に汐見稔幸先生(東京大学教授)の講演会は立ち見ができるほどの盛況でした。子育て祭りはステージ発表、ブース展とも多くの子ども達の参加があり、子どもも大人も学び楽しむ一日となりました。参加者は約3千名でした。



● 子育て支援者（子育てNPO）指導者研修事業

（厚生労働省、こども未来財団主催事業を実施団体として企画運営）



子育て支援団体の運営や活動の質をより向上させていこうという目的の為に「次の世の中は誰がつくる？～今、本気で考えよう次世代育成」と題しての研修会を実施しました。2004年12月11日、12日、群馬県庁で「ぐんま子ども子育て学（楽）会」と同時開催でおこなわれました。

子育て学会で
ジュニアスタ
ッフとして
がんばった
子ども達



11日は午前には厚生労働省からの講師を迎えての基調講演と様々な立場の方による「地域での次世代育成について考えよう」と題したパネルディスカッション。午後には子どもと一緒に参加できるワークショップを行いました。

12日は県内で活動している3団体の発表の後、「子育て支援活動にマネジメント力を」と題しての講習会と、参加者と昼食をともにした「全体会及び交流会」を実施しました。2日間の参加者は延べ約150人でした。

● マスコミの活動紹介等

- ・1月群馬経済新聞にて 知事、教育委員長と代表が新春懇談
- ・1月 上毛新聞にて活動紹介
- ・4月～10月 ラジオ高崎「高崎スタイル」にゲスト出演計5回
- ・4月 毎日新聞にて「はっぴ～MAP」紹介
- ・5月 上毛新聞にて活動紹介記事 ・5月 朝日新聞にて活動&「はっぴ～MAP」紹介
- ・6月 月刊バリッシュにてMAP紹介・7月 高崎テイクにて活動紹介掲載

ラジオ高崎で
子育て情報を



● べばーみんと役員による行政等会議参加&講演等

私どもへ寄せられた子育てをしている人の声や思いを届けました。

- ・群馬県人権教育・啓発推進懇談会（16年度）・群馬県次世代育成支援推進行動計画策定委員会（16年度）
- ・群馬県保育士資質向上検討委員会（16年度）・群馬県教育委員会すこやか風の子企画会議
- ・社会福祉協議会「ぐんまボランティア市民活動支援センター」運営委員会・群馬県社会福祉協議会評議委員会
- ・福祉サービス評価推進センターぐんま 認証・公表専門研究事業検討会・群馬県教育問題県民懇談会
- ・群馬県青少年問題協議会委員・NPO協議会（幹事）・群馬県食品安全県民会議・群馬県食育推進会
- ・中央児童相談所児童問題調査研究会委員・前橋市ボランティア団体連絡協議会・前橋地域福祉推進会議
- ・市民立NPOカレッジ「NPOコミュニティービジネス科」及び「介護福祉サービス科」講師
- ・勢多郡東村 村立あずま小学校「子育て講演」講師



● 7期役員（2005年8月1日から）

理事

荒川香苗（代表）、矢島美智代（常任）
大縄順子、神田知子、小野里千登勢
荒井ルミ、田村由美子、大藤仁美
松戸雅子、尾崎志保里、増野典子

監事

岡野雅子（信州大学教授）

● 寄付のお願い

6期（5/31）は53,113円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。より、多くの方の子育て支援になるように大切にに使わせていただきます。

私たちの活動は多くの事業を無償ボランティアが支えています。今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

寄付窓口 郵便振替 00560-0-29816

特定非営利活動法人 市民メディアべばーみんとかんばんにー
住所 〒371-0034 前橋市昭和町1-20-11-1

※テレホンカードや切手などでも受け付けております。

特定非営利活動法人 市民メディアべばーみんとかんばんにー

住所 〒371-0034 前橋市昭和町1-20-11-1

Tel&Fax: 027-260-6361 E-mail: pep@pep-net.gr.jp

http://www.pep-net.gr.jp 事務局運営時間はAM10:30～PM1:30（水～金）



「こねこクラブ&ひよこクラブ」の活動について

1. 「こねこクラブ&ひよこクラブ」ができた経緯について

結婚後、仙台で6年生活したが、長女が小学校に入学と同時に、地元の前橋へ帰ってきた。次の年、3番目の長男が幼稚園に入園だったが、誰も友達がいないので、入園前にお友達を作ってあげたいと思い、サークルを立ち上げた。

2. 活動内容について

〈こねこクラブ〉 毎週水曜日、南橋公民館

〈ひよこクラブ〉 毎週木曜日、元総社公民館

1歳児クラス AM10:00～11:00 各クラス 18組の親子（定員）

2歳児クラス AM11:00～12:00

行事の時は合同で AM10:00～12:00

◎デイリープログラム（別紙参照）

入室	おもちゃ遊び
AM10:00（11:00）	おはじまりのうた、あいさつ
10:05（11:05）	出欠確認 「〇〇ちゃ〜ん」「は〜い」
10:10（11:10）	うた、手遊び、絵本 他
10:20（11:20）	主活動
10:55（11:55）	おかえりのうた、あいさつ、出欠シールを自分のカードに張る

平成17年度

◎年間スケジュール（主な活動）*サークルは5月から始まり、8月は夏休み、3月まで

- 5月 ・自己紹介、グループ分け ☆は行事
 - ・交流会
 - ・お誕生日会
- 6月 ☆遠足（1歳児・2歳児合同） 三ツ寺公園
 - ・夏まつりの話し合い
 - ・製作「かたつむり」
 - ・お誕生日会、夏まつり準備
- 7月 ・お誕生日会
 - ・夏まつりの準備、幼稚園情報☆夏まつり（こねこクラブ・ひよこクラブ合同）
- 9月 ・グループ分け、どうぶつたいそう
 - ・運動あそび
 - ・お誕生日会、運動会について
- 10月 ☆遠足（1歳児・2歳児合同） 愛宕山ふるさと公園
 - ・運動会準備、お誕生日会☆運動会（こねこ・ひよこ合同）
- 11月 ・スタンプあそび
 - ・リンゴ狩

- ・お誕生日会
- 12月 ・おやつづくり「クレープづくり」
- ・クリスマス準備、発表練習
- ☆クリスマス会（こねこ・ひよこ合同）
- 1月 ・グループ分け、正月あそび「カルタ取り」
- ・お誕生日会
- ・感触遊び「小麦粉粘土であそぼう」
- 2月 ・「鬼の帽子づくり」「豆まき」 集合写真
- ・修了会の話し合い、集合写真
- ・お誕生日会、修了会準備
- 3月 ・修了会練習、お誕生日会
- ☆お別れ遠足（1歳児・2歳児合同） るなパーク
- ☆修了お楽しみ会

3. 活動をすすめるにあたっての悩み・課題

- ・活動場所の確保

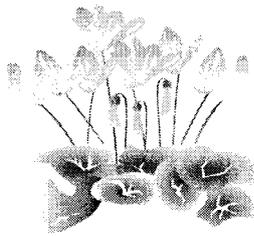
4. 活動をすすめるにあたって、地域の人たちに協力してほしい支援

〔アンケート結果〕

- ・伝統遊びを教えてほしい
（お手玉、おはじき、あやとり、まりつき、こま、竹とんぼ、他）
- ・童謡、わらべうた、子守り歌、手遊びを教えてほしい
- ・伝統料理、行事食、自然なおやつの作り方、野菜嫌いの対応、野菜料理の工夫の仕方
- ・あみ物、しめ縄の作り方
- ・登下校時の防犯パトロール
- ・叱り方について
- ・親にも色々な知恵を教えてほしい
- ・緊急に子供を預けられる所を各地域にもっと増やしてほしい
- ・朝の旗振り（小学校）
- ・集団健診の時の兄弟の子守り
- ・シニアの方とコミュニケーションを取りたい
- ・銀行等で書類を書いている時、ぐずっている子の面倒を見てほしい（声を掛けてくれるだけでも大分違う）

5. 子育て支援活動の輪にシニアはどのように関わっていけばいいのですか？

- ・どんどんサークルに遊びに来てもらい、交流を深めたい。
- ・伝統遊びなど、子供を連れて、どこかへ行って教えてもらうのは大変なので、公民館に来てほしい。
（出前講座のような一覧があると、内容を選べるのでありがたいです。）
- ・核家族化、少子化の現在、シニアの方との交流は、育児支援の大きな支えになると思います。是非、実現させていただきたいです。



H18年2月10日(金)

群馬県生涯学習センター 加藤 仁子

子育て支援の輪を広める

1 子育て支援関連施策 ～群馬県生涯学習センターでの取り組み～

① 家庭教育電話相談「よい子のダイヤル」…リーフレット参照

〈ねらい〉

乳幼児から高校生くらいの子どもをもつ保護者や児童生徒を対象に、育児やしつけ、健康面など家庭教育上生ずるいろいろな悩みや、児童生徒自身の生活上の悩みなどについて、電話による幅広い相談に応じて、諸問題の解決を図る一助とする。

昨年度利用者 2,599件

・S53にスタート。当時は県教育委員会社会教育課内に設置されていた。

S62・10・28、当センターの開館と同時に移転して、専用ブース室を設置。現在に至る。

② 「家庭教育指導者養成講座」…カウンセリング研修のスキルアップ 資料1参照

「子育て支援スキルアップ講座」…子育て支援活動のスキルアップ 資料2参照

③ 育児学習室…資料3参照

〈ねらい〉

乳幼児の遊びや保護者の情報交換の場として提供するとともに、子どもの成長や保護者の悩みの解消を図る。

昨年度利用者15,584人

【保護者の多種多様化例（育児学習室の様子から）】

- ・手を入れすぎる。3歳男の子。トイレに行き用を足すのに、母がズボンを下ろしてさせてあげる。済んだら、またズボンを上げる。下の子が「お母さん、お母さん」と大きな声で泣いているのに「今忙しいの」とかまわない。一人でできるのに、自立させない。親も自立できない。
- ・滑り台から落ちそうな子どもに、口で言うだけで、手を出さない。その子は、ちょっとでも人が触ろうとすると、恐れてしまう。「ビクッ」とする。

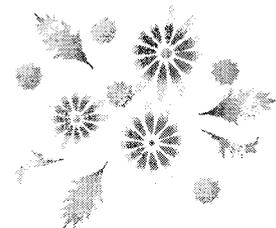
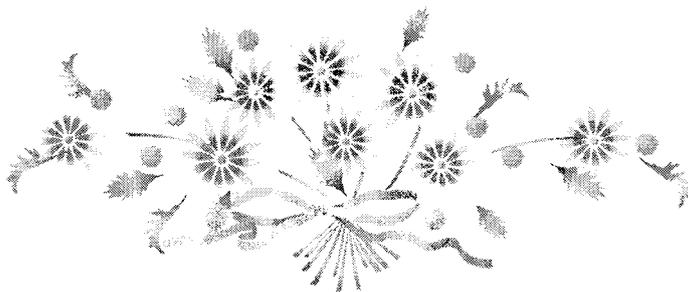
- ・一緒に遊んでいる同じ月ごろの子が、寝返りをした。それを見た母親は「うちの子もさせなくちゃ」と子どもをコロコロ転がしている。
- ・子どもに「階段にする？エレベーターで行く？」子「階段がいい」母「じゃ、そうしよう」と言いながら「エレベーターが来たから乗っていこう」と、乗ってしまう。子「階段で行くっていったのに」としぶしぶ付いて行く。
- ・「うちの子、自閉症かしら」と疑っている保護者と祖母。テレビからの知識で、心配で仕方ない様子。「ちゃんと目が合って話しているから大丈夫」と助言すると安心する。
- ・「私、子どもを虐待しちゃうんです」と笑いながら言う母。深刻なことを真剣に受け取められない。
- ・「子供の行動が気に入らない。わかっているけど、冷たくしてしまう」と言う母。
- ・祖父「そんなに友達をたたいたら危ないよ」3才の孫「大丈夫だよ。リセットすれば生き返るんだから」祖父はビックリ。

2 子育て支援活動に関わる

- ① 地域の子育て支援団体を知る
- ② 地域の学校支援センターに登録する
- ③ 子育て支援団体を立ち上げる

※自身の力を伸ばすために各種講座に参加する。

人と人とのつながりが大事



家庭教育指導者養成講座参加者募集

- 1 趣 旨 家庭教育に関する専門的な理論や技法について研修を行い、家庭教育の様々な問題にかかわる相談に対して、適切な対応ができるとともに、地域において家庭教育支援ができる指導者を養成する。
- 2 主催・場所 (財)群馬県教育文化事業団 群馬県生涯学習センター
- 3 日 時 平成17年9月7日(水)・9月14日(水)・9月21日(水)
9月28日(水)・10月5日(水)・10月12日(水) 6日間
10時00分～15時00分(初日のみの9時45分)
- 4 対 象 家庭教育カウンセリング初級講座等の修了者
- 5 募集人員 60人(定員を超えた場合は、抽選により、受講者を決定します。)
- 6 受講料 無 料(ただし、親子関係検査用紙代として、220円程度を徴収します。)
- 7 講座日程、内容、講師等

回	月日 曜日	午 10:00	前 12:00	午 13:00	後 15:00
1	9月 7日 (水)	(開講式) 9:45～10:00 (講義と実習) 児童期・青年期の発達と理解 (講師) 東京福祉大学 教授 手島 茂樹		【公開講座】	
2	9月 14日 (水)	(講義と実習) 心理検査実習 ～親子関係検査～ (講師) 群馬県生涯学習センター 指導主事 加藤 仁子		(実習) カウンセリング実習 1 1班～4班 (講師) よい子のダイヤル相談員	
3	9月 21日 (水)	(講義) 家庭教育の在り方 ～学校支援センターとの連携～ (講師) 前橋市立桃瀬小学校 校長 橋爪 俊明		(実習) カウンセリング実習 2 1班～4班 (講師) よい子のダイヤル相談員	
4	9月 28日 (水)	(講義と実習) 心の問題の理解と援助の仕方 【公開講座】 (講師) グループインサイト心理教育研究所 所長 加藤 昌弘		(実習) カウンセリング実習 3 1班～4班 (講師) よい子のダイヤル相談員	
5	10月 5日 (水)	(講義と実習) 家族療法 (講師) 東京大学 教授 亀口 憲治		【公開講座】	
6	10月 12日 (水)	(講義) 非行の理解と指導・援助 (講師) 警察本部少年課 少年育成センター		(実習) カウンセリング実習 4 1班～4班 (講師) よい子のダイヤル相談員	
				閉校式 15:05～15:15	

8 申込期間 平成17年8月1日(月)～8月20日(土)

9 申込方法 受付期間内に、往復はがき(往信欄に修了講座名、修了年度、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、返信欄には郵便番号、住所、氏名を記入する)で申し込んでください。

10あて先等 〒371-0801 前橋市文京町2-20-22

群馬県生涯学習センター学習情報課 Tel 027-224-5700 FAX 027-224-3542

※【公開講座】申し込みの方は、ハガキに希望講座名・名前を記入して申し込んでください。希望者は、全員参加できます。

子育て支援スキルアップ講座参加者募集

- 1 趣 旨 社会教育施設などにおいて、子育て支援活動をしている県民に対して、必要な知識技能を講義・演習、ワークショップ等を通して研修する機会を提供し、活動のスキルアップを図る。
- 2 日 時 平成17年6月18日(土)・25日(土)・7月2日(土)
10時00分～15時00分(初日のみの9時45分)
- 3 会 場 群馬県生涯学習センター
- 4 対 象 社会教育施設などにおいて、子育て支援活動をしている県民・職員
- 5 募集人員 20人(定員を超えた場合は、抽選により、受講者を決定します。)
- 6 受講料 無 料
- 7 講座日程、内容、講師等

回	月日 曜日	午 前 10:00 12:00	午 後 13:00 15:00
1	6月 18日 (土)	(開講式) 9:45～10:00 (ワークショップ) ① 「親子で遊ぼう」 ・ベビーマッサージ ・絵本読み聞かせ ・紙芝居 (講師) 群馬県生涯学習センター 子育て支援ボランティア	(ワークショップ) ② 「親子で遊ぼう」 ・手作りおもちゃ ・わらべうたと手遊び (講師) 群馬県生涯学習センター 子育て支援ボランティア
2	6月 25日 (土)	(講義と演習) 「乳幼児の発達理論について」 (講師) 共愛学園前橋国際大学 教授 山本 登志哉	
3	7月 2日 (土)	(実習) 「幼児安全法」 (講師) 日本赤十字社群馬県支部の指導員	(実習・情報交換会) 「これからの活動のために」 ～各種事例を通して 意見発表・討論会～ (講師) 群馬県生涯学習センター 指導主事 加藤 仁子

8 申込期間 平成17年5月10日(火)～6月10日(金)

9 申込方法 受付期間内に、往復はがき(往信欄に住所、氏名、年齢、性別、電話番号、所属サークル等の名を記入し、返信欄には郵便番号、住所、氏名を記入する)で申し込んでください。

【あて先等】 〒371-0801 前橋市文京町2-19-18
群馬県生涯学習センター学習情報課 Tel 027-224-5700 FAX 027-221-4082

子育て支援ボランティア活動について

1 目的

育児学習室等での子どもの遊びの支援や親同士の交流を深めることを通して、県民の子育てを支援するために子育て支援ボランティアを設けます。

2 対象

県民の子育て支援に関心があり、家庭教育について学習や経験を積んできており、子育て支援ボランティア活動をしてみたい方（個人と団体の希望者を受け入れます）

3 活動

(1) 活動の曜日と時間

曜 日：火曜日・金曜日

時 間：13：30～15：00

(2) 当番表

毎回3人で当番表に基づいて実施します。当番表は、担当職員が作ります。急に都合が悪くなり、当番ができなくなった場合は、早めに担当まで連絡してください。

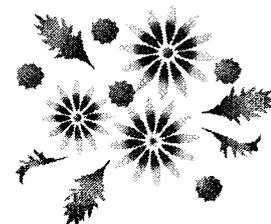
(連絡先：027-224-5700 担当：都丸 学習情報課)

(3) 場 所

群馬県生涯学習センター育児学習室（2階）

(4) 内 容

- ① 親同士の交流の促進
- ② 子どもたちの遊びへの支援
- ③ 育児に悩みを持つ親への支援



4 研 修…ボランティアの資質向上のために

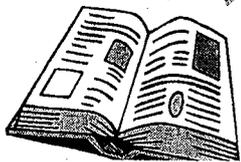
- 生涯学習センターにおける「子育てスキルアップ講座」「家庭教育指導者養成講座（公開講座）」「ボランティアコーディネーターセミナー」等に参加できます。

5 組織

- (1) 代表1人（「生涯学習ボランティアの集い」の実行委員となる）、副代表2人
- (2) サークル・行事

「びっくり箱」「スリーピース」が月1回くらいで、イベントを行う。

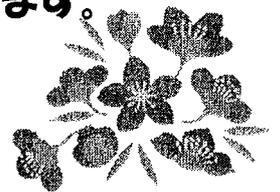
小学校の「寺子屋」で ボランティアを募集しています



※ ドリル学習の効果についてはウラ面を読んでください。

内容について

小学校の「寺子屋」と名付けた教室で、高齢者や地域の方が、無償ボランティアとして、主に1・2年生と一緒にドリル学習をします。
時間帯は、放課後でおおよそ午後2時～4時頃です。



ドリル学習について

「 $3 + 5 = 8$ 」「 $12 + 15 = 27$ 」などの1けたや2けたのたし算や引き算、九九などの基本的な計算問題を50問程まとめたものがドリルです。ドリルの問題を解くことを、主に1・2年生といっしょに行います。

今、ドリル学習が脳機能や身体の健康増進になることから、多くの中高年の方が取り組んでいます。(ウラ面をご覧ください)

実施する小学校 (ボランティアが集まり次第実施します)

1 中川小学校	224-3819	9 東小学校	251-6421
2 敷島小学校	231-2634	10 大利根小学校	252-8111
3 城東小学校	231-2251	11 新田小学校	252-1833
4 若宮小学校	231-3881	12 細井小学校	231-1780
5 岩神小学校	231-6162	13 荒牧小学校	233-3080
6 山王小学校	266-5171	14 駒形小学校	266-0028
7 朝倉小学校	261-7775	15 筑井小学校	266-0068
8 桂萱小学校	231-3015	16 大胡東小学校	280-2332

ボランティアの申し込みの問い合わせ

実施する各小学校にお問い合わせ下さい。

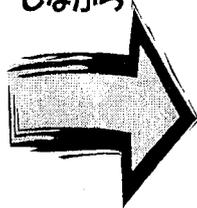
または、生涯学習課「寺子屋」係 (電話 027-890-5824 直通)

※ドリル学習を主体としますが、読み聞かせなどの他の活動もあるのでお問い合わせください。

最近注目のドリル学習



子どもと交流
しながら



たのしみながら



東北大学の川島教授（脳科学）が効果を実証

簡単なドリルを繰り返し解くことで、脳を活性化し、脳機能の低下防止や会話能力、身辺自立能力を改善します。脳の健康増進運動です。

多くの人々がドリル学習

川島教授監修の大人向けのドリル本が百数十万部売れるなど、多くの中高年が取り組んでいます。

「寺子屋」で子どもと一緒にドリル学習



地域で子どもを育てる

子どもにとっては・・・

放課後の学習支援とボランティアと交流して豊かな人格の形成に

大人（高齢者）にとっては・・・

ドリルで脳の健康増進。子どもと触れあい楽しみながら子育てに貢献

地域で子育て支援・・・

今、いろいろな事件が学校や子どもの周辺で起きています。地域で子どもを見守り健やかな育ちを応援しましょう